

狂犬病予防注射接種率向上に 向けた取組について

令和5年8月18日

第21回船橋市動物愛護管理対策会議

狂犬病予防注射済票の交付事業について

1. 現状と課題

- 個別注射（基本）

- ※ 動物診療施設での予防注射接種から市の窓口での注射済票の交付までの手続きを飼い主が一貫して行う方法

- 個別注射（代行）

- ※ 動物診療施設での予防注射の接種後、動物診療施設が飼い主に代わって市の窓口で注射済票の交付手続きを行う方法

- 集合注射

- 狂犬病予防注射済票の交付方法

- 集合注射利用数の推移

2. 評価

3. 改善策と効果

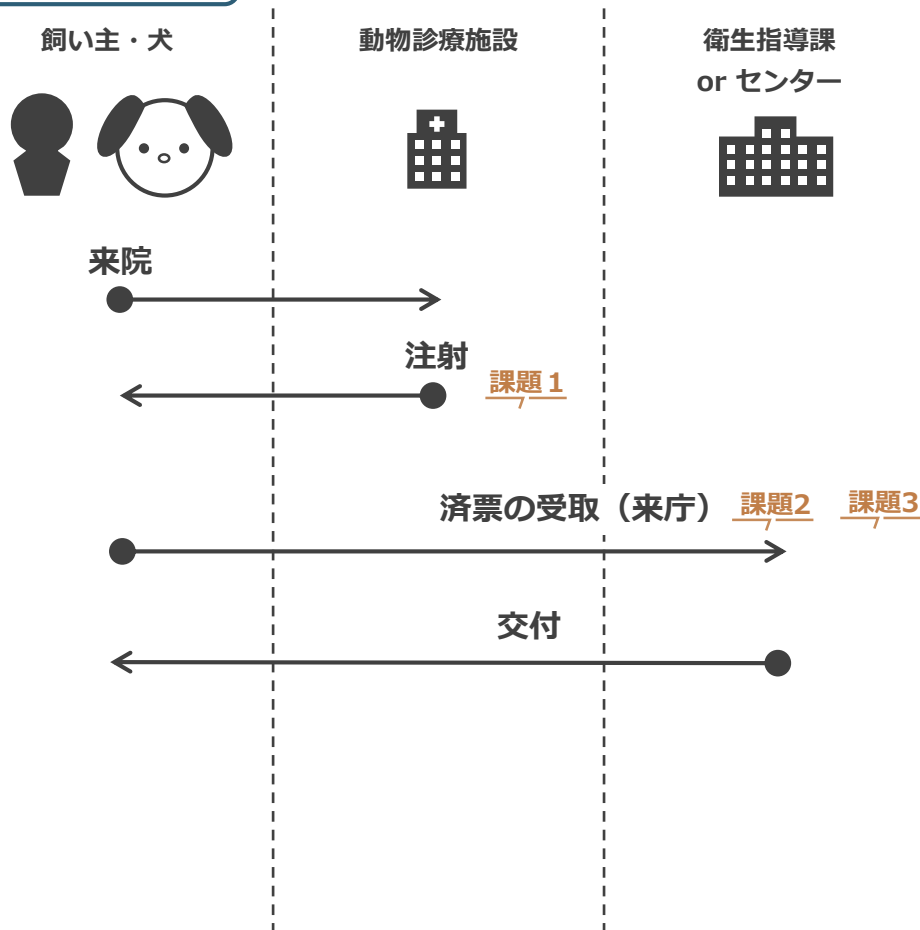
4. 今後の方向性

狂犬病予防注射済票の交付事業 | 1.現状と課題 個別注射（基本）

現状

- ・ 年1回の注射が法律で義務付けられている
- ・ 注射は動物診療施設で実施
- ・ 注射済票を本人に交付

動物診療施設で注射



課題

課題1

✓ 集合注射以外で注射済票が即時交付されない

- ・ 現在は病院で交付することができない

課題2

✓ 注射済票の交付手続きをしない犬の所有者がいる

【交付を受けない理由（一例）】

- ・ 交付を受けることを知らなかった
- ・ 窓口が遠い
- ・ 手続きが面倒くさい
- ・ 平日に手続きができない

課題3

✓ 繁忙期は窓口が混みあう

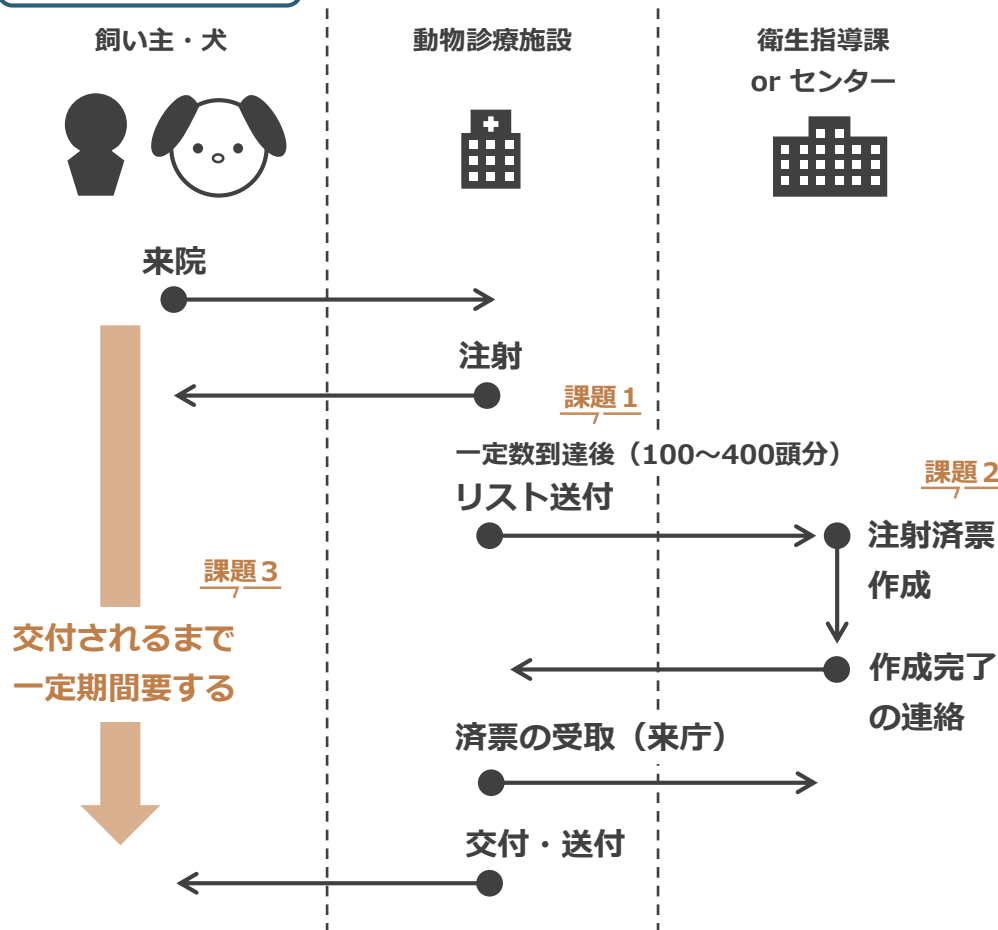
- ・ 4月～6月の狂犬病予防月間は、窓口が混みあい、交付までに待ち時間が生じている

狂犬病予防注射済票の交付事業 | 1.現状と課題 個別注射（代行）

現状

- ・ 年1回の注射が法律で義務付けられている
- ・ 注射は動物診療施設で実施
- ・ 注射済票を本人に交付

動物診療施設で注射



課題

課題1

- ✓ 集合注射以外で注射済票が即時交付されない
 - ・ 現在は病院で交付することができない

課題2

- ✓ 代行手続きの注射済票作成事務がとても大変
 - ・ 1病院で10~400頭分まとめてリスト送付される
 - ・ 年間で注射済票の交付数が約20,000件中、内約13,000件※1を動物診療施設が代行手続きする
 - ・ 約13,000件中、4~6月※2に約10,000件※1が集中する
(※1: 令和元年度実績、※2: 4~6月: 狂犬病予防月間)
 - ・ 名前や住所、犬の登録有無を1頭ずつ確認
 - ・ 手書きが多く病院に電話することが多い
 - ・ 犬ごとに注射済票番号を振る
 - ・ 病院に受け取り日を電話で連絡

課題3

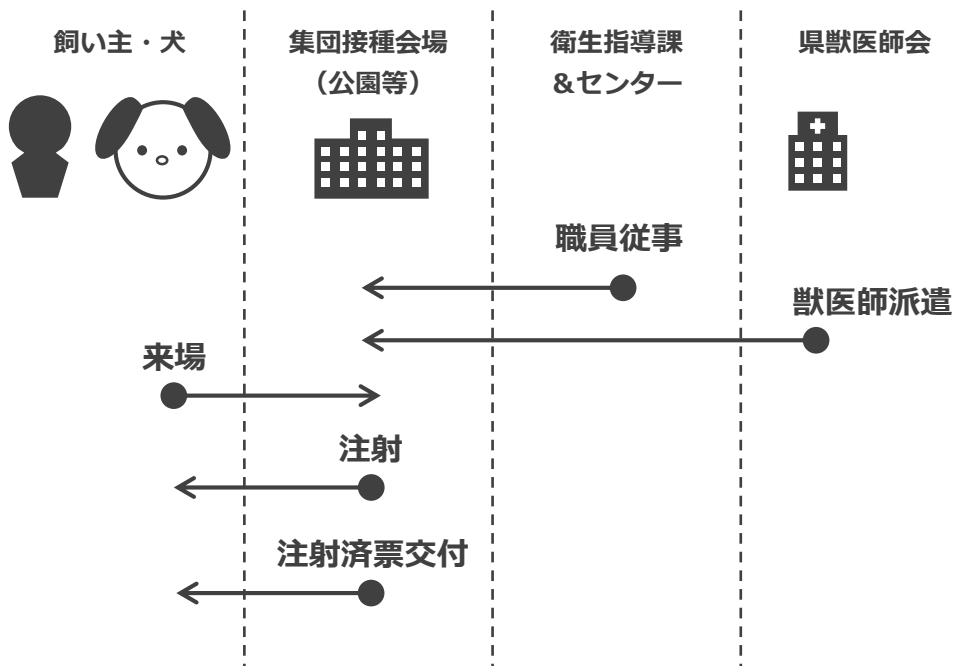
- ✓ 飼い主に交付されるまで一定期間要する
 - ・ 本来、速やかに交付し首輪につけてもらう必要がある
 - ・ 繁忙期は事務量が膨大となり、交付までに時間を要することがある
 - ・ 仮に動物診療施設の代行手続きを中止した場合には、窓口へ注射済票の申請が集中するため、繁忙期には、現在よりさらに時間を要するおそれがある

狂犬病予防注射済票の交付事業 | 1.現状と課題 集合注射

現状

- ・ R1は4～6月に9日間、平日6会場×8日と休日1会場×1日、合計49会場で実施
- ・ R2～R5はコロナ禍により中止

集合注射での注射



課題

課題1

✓ 衛生面・安全面でリスクが大きい

- ・ 公園で実施するため逃げ出す犬が多く、職員が捕獲しなければならないことがある
- ・ 屋外での実施のため不衛生な場合がある
- ・ 犬が多く集まるため、犬同士の喧嘩、逸走やこう傷事故等のリスクが高い
- ・ 屋外で、問診票（個人情報）や金銭を取り扱うため、それ等の取扱いのリスクが高い

課題2

✓ 職員の負担が大きい

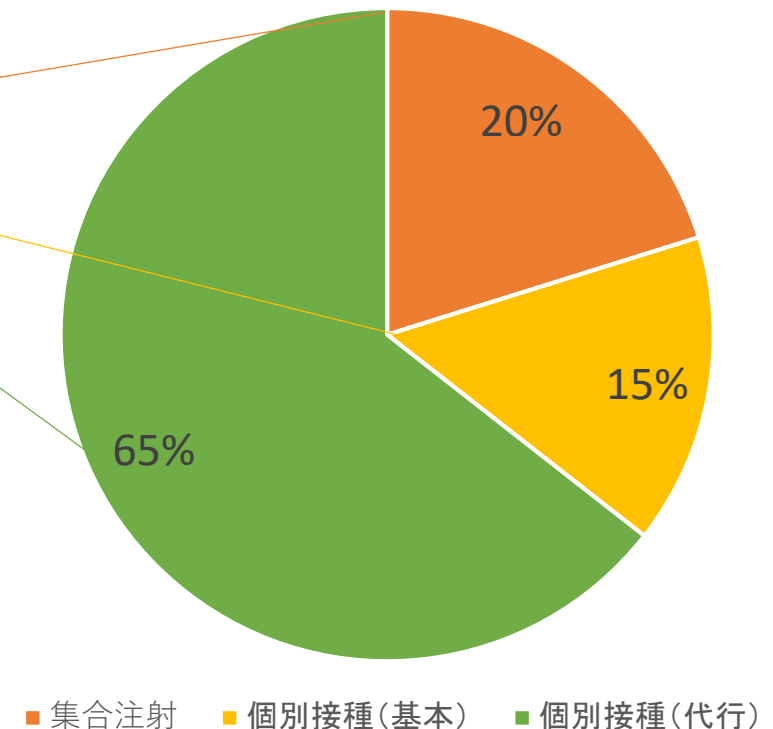
- ・ 1日あたり職員12人で対応しており負担が大きい
- ・ 脱走の対応や来場者への対応も行う
- ・ 集合注射実施後に、ふん尿等の清掃も行う

狂犬病予防注射済票の交付方法

- 狂犬病予防注射済票の交付状況
(令和元年度)

	4月～6月	7月以降	合計
集合注射	4,076	-	4,076
個別注射 (基本)	1,753	1,366	3,119
個別注射 (代行)	10,060	3,004	13,064
合計	15,889	4,370	20,259

- 狂犬病予防注射済票の交付方法
(令和元年度)



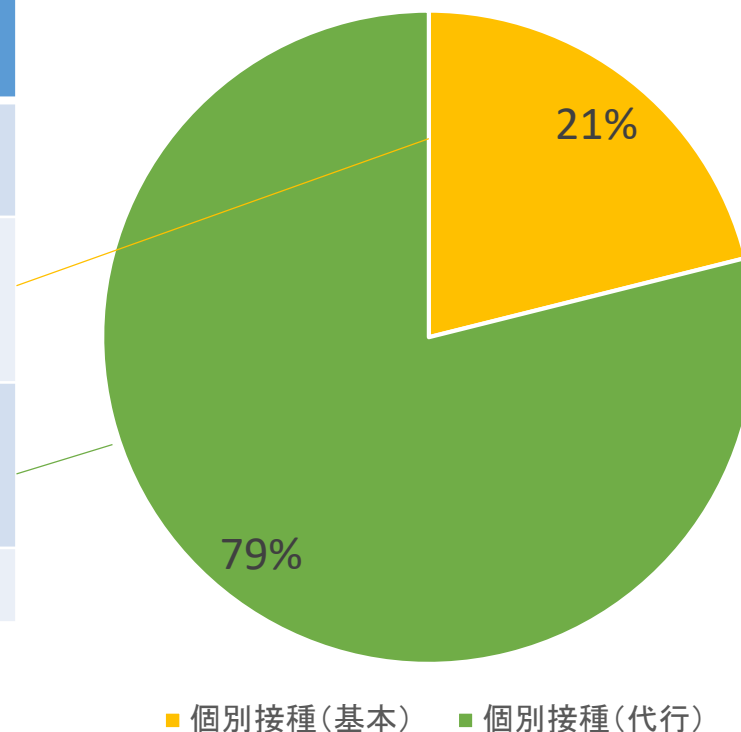
狂犬病予防注射済票の交付事業 | 1.現状と課題

狂犬病予防注射済票の交付方法

- 狂犬病予防注射済票の交付状況の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
集合注射	4,076	-	-	-
個別注射 (基本)	3,119	4,068	3,967	4,329
個別注射 (代行)	13,064	15,434	16,219	16,231
合計	20,259	19,502	20,186	20,560

狂犬病予防注射済票の交付方法
(令和4年度)

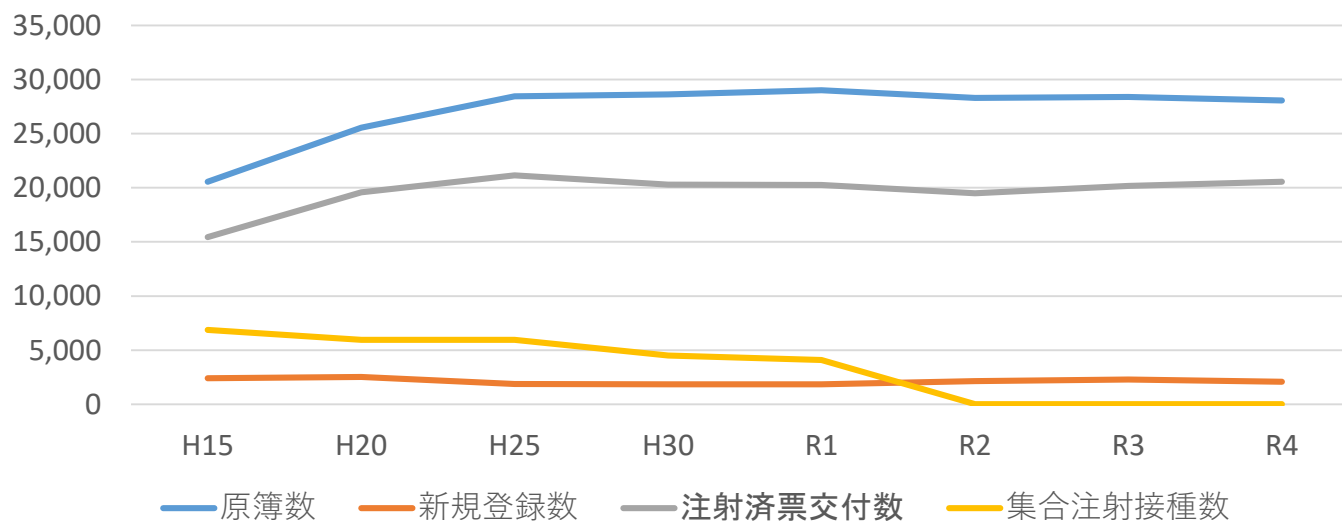


狂犬病予防注射済票の交付事業 | 1.現状と課題

集合注射利用数の推移

	原簿数	新規登録数	注射済票交付数	接種率	集合注射接種数	集合注射割合
H15	20,547	2,401	15,456	75%	6,872	44%
H20	25,567	2,512	19,595	77%	5,944	30%
H25	28,451	1,864	21,150	74%	5,959	28%
H30	28,627	1,847	20,305	71%	4,514	22%
R1	29,016	1,847	20,259	70%	4,076	20%
R2	28,301	2,129	19,502	69%	0	0%
R3	28,401	2,280	20,186	71%	0	0%
R4	28,084	2,066	20,560	73%	0	0%

集合注射利用数の推移



狂犬病予防注射済票の交付事業 | 2.評価

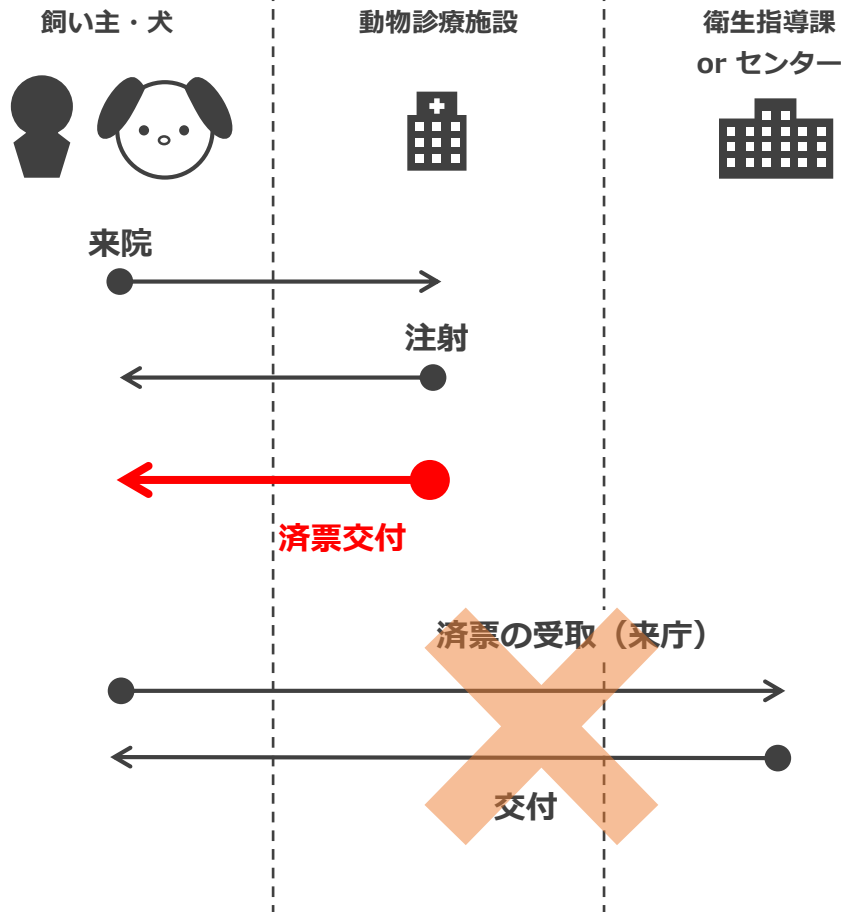
- 平成15年以降、注射済票交付数は増加傾向にあるが、集合注射利用数は減少している。
- 狂犬病予防法に基づき、事業を継続する必要がある。
- 現在、注射済票の交付は、市窓口のみでしか行っておらず、市民サービスの向上に有効な手法となっていない。
- 「市町村の出張所・連絡所等における窓口業務に関する官民競争入札又は民間競争入札等により民間事業者に委託することが可能な業務の範囲等について（総務省通知）」により、犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付は、民間事業者の取扱いが可能とされており、これらを民間事業者への委託する等の検討が必要である。

狂犬病予防注射済票の交付事業 | 3.改善策と効果 個別注射（基本）

改善策

✓ 注射済票交付事務の 動物診療施設へ委託

動物診療施設で注射



効果

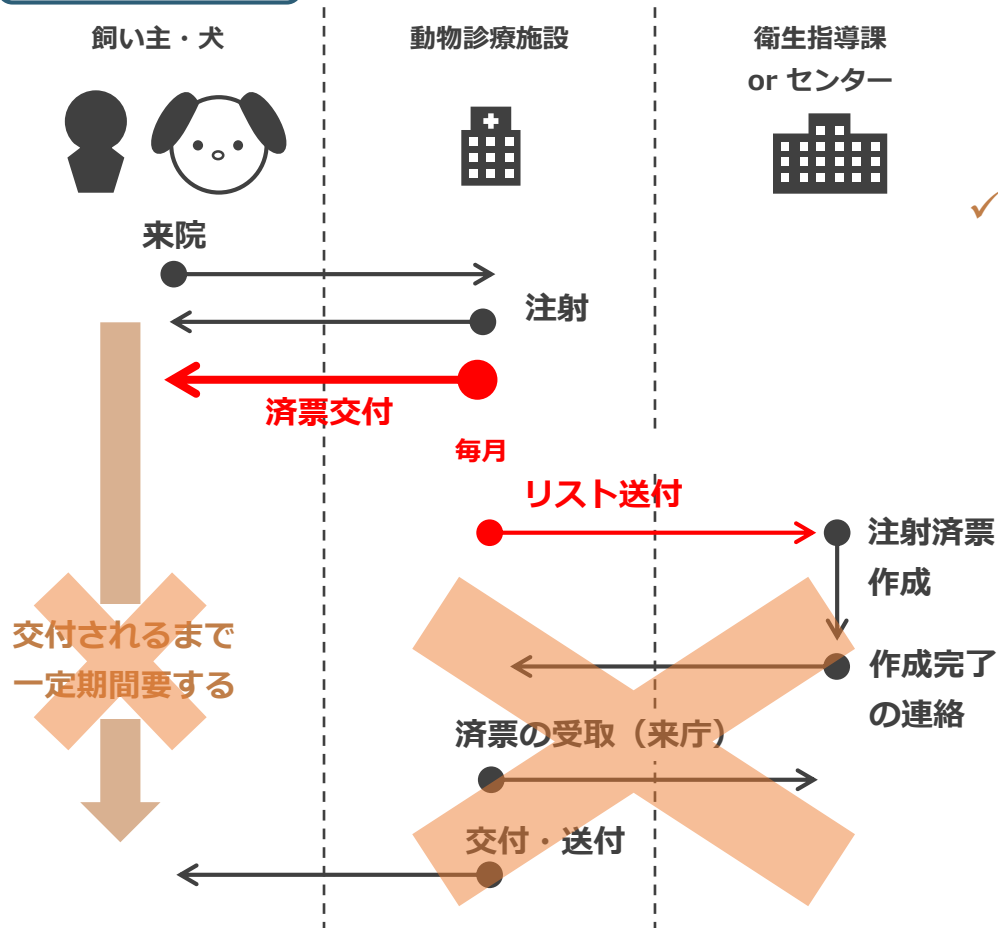
- ✓ 動物診療施設でも注射済票の即日交付が可能に
 - ・ 市民サービスの向上
 - ・ 注射済票交付率の向上
- ✓ 交付窓口の混雑の緩和

狂犬病予防注射済票の交付事業 | 3.改善策と効果 個別注射（代行）

改善策

✓ 注射済票交付事務の 動物診療施設へ委託

動物診療施設で注射



効果

- ✓ 動物診療施設でも注射済票の即日交付が可能に
 - ・ 市民サービスの向上
 - ・ 注射済票交付率の向上
 - ・ 交付窓口の混雑の緩和
- ✓ 動物診療施設の負担軽減
 - ・ 狂犬病予防注射と同時に注射済票を交付できる

改善策

✓個別注射の推進

効果

- 安全で、衛生的に狂犬病予防注射を接種できる
- かかりつけの動物診療施設では、健康状態をより正確に把握できるため、注射による副反応のリスクを軽減できる
- かかりつけの動物診療施設を持ち、定期的な健康診断を受ける契機となる

✓ 注射済票交付事務の動物診療施設へ委託

狂犬病予防注射の即時性の向上のためにも、注射済票の交付業務を動物診療施設へ委託する。委託により、動物診療施設で狂犬病予防注射の接種ののち速やかに注射済票の交付を受けられるようになる（済票交付のワンストップ化）。

✓ 個別注射の推進

上記方法の実現（済票交付のワンストップ化）により、市民及び動物病院の利便性を向上することができる。



市と動物診療施設との協力により、狂犬病予防注射接種率の向上を図る